



明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第19回総会資料



2023年5月14日(日)

於：山崎製パン企業年金基金会館大ホール

明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第19回総会・懇親会次第

第1部 総会		(11:00~12:10)	司会	高梨支部長代行
1 開会のことば			司会	
2 支部長挨拶			伊与久支部長	
3 ご来賓紹介			司会	
4 議長選出			伊与久支部長	
5 議事録署名人選出			阿部副幹事長 武士田副幹事長	
6 議事	第1号議案	2022年度 活動報告	高橋幹事長	
	第2号議案	2022年度 収支決算報告	鷹見副支部長	
		2022年度 監査報告	大越監査委員	
	第3号議案	2023年度 活動計画(案)	高橋幹事長	
	第4号議案	2023年度 収支予算(案)	鷹見副支部長	
7 報告事項			伊与久支部長	
8 来賓代表挨拶			前田西部支部長	
9 閉会のことば			司会	
10 記念写真			明村副支部長	

(20分休憩)

第2部 懇親会		(12:30~14:30)	司会	伊与久副支部長
1 開会のことば			司会	
2 挨拶			渡辺復興大臣	
3 乾杯			山田顧問	
4 新入会員紹介			司会	
5 県会議員・市会議員紹介			司会	
6 歓談				
7 アトラクション		マンドリン・ミニコンサート(13:10~13:40)		
8 校歌斉唱			指揮	伊与久副支部長 鷹見副支部長
9 閉会のことば				中原副支部長

第1号議案

2022年度 活動報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

★ 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で活動に影響が出ました。

1. 大学本部関係

- ・ 2022年 7月31日(日) 代議員総会 アカデミーコモン
- ・ 9月 4日(日) 第58回全国校友会岡山大会 中止
- ・ 10月23日(日) 第25回ホームカミングデー 駿河台キャンパス

2. 西部支部関係

- ・ 2022年 4月24日(日) 我孫子地域支部総会 鈴木屋
- ・ 5月 8日(日) 千葉県西部支部役員会 山崎製パン企業年金基金会館
- ・ 5月22日(日) 柏地域支部総会 ハート柏迎賓館
- ・ 5月28日(土) 浦安地域支部総会 浦安市美浜公民館
- ・ 5月29日(日) 船橋地域支部総会 中止
- ・ 6月12日(日) 千葉県西部支部総会 中止
- ・ 6月18日(土) 流山地域支部総会 中止
- ・ 8月28日(日) 千葉県西部支部役員会 山崎製パン企業年金基金会館
- ・ 11月27日(日) 松戸地域支部総会 聖徳大学10号館
- ・ 2023年 1月29日(日) 千葉県西部支部役員会 うえだ別館

3. 市川地域支部関係

- ・ 2022年 4月22日(金) 役員会 書面決議にて実施
- ・ 5月 8日(日) 第18回支部総会 書面決議報告郵送
- ・ 11月 3日(日) 市民まつり参加 大洲防災公園
- ・ 12月10日(土) 役員会・役員忘年会 山崎製パン企業年金基金会館
- ・ 2023年 2月 5日(日) 役員会・新年会 うえだ別館
- ・ 3月 18日(土) 三役会 全日警ホール

4. 同好会関係

- ・ ゴルフ同好会 1回のみ開催 12月9日(金) 11名参加 真名カントリー
- ・ カラオケ同好会 年4回開催予定 中止
- ・ ボウリング同好会 8月にボウリング大会&暑気払い開催予定 中止
- ・ ハイキング同好会 谷中霊園ツアー 12月3日(土) 8名参加 谷中霊園

5. 地域貢献活動関係

- ・ 地域ボランティア活動 中止

2022年度 収支決算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
I 地域支部会費収入	126,000	81,000	-45,000	
1.年会費	126,000	81,000	-45,000	3千円*27人
2.総会会費	0	0	0	
II 活動収入	600,000	326,970	-273,030	新年会会費、明大グッズ販売売上等
III 寄付金収入	0	0	0	支部総会中止
IV 受取利息	4	5	1	
V 雑収入	500	0	-500	
収入合計	726,504	407,975	-318,529	
繰越金	873,076	873,076	0	
合計	1,599,580	1,281,051	-318,529	

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
I 活動費	750,000	576,590	-173,410	
1.地域支部交流費	50,000	20,000	-30,000	
2.その他活動費	700,000	556,590	-143,410	新年会、同好会補助
II 広報費	144,000	95,390	-48,610	
1.地域支部会報発行費	120,000	71,390	-48,610	総会資料、まつかぜ発行費等
2.広報関係費	24,000	24,000	0	ホームページ維持費等
III 運営費	201,000	98,590	-102,410	
1.会議費	11,000	850	-10,150	
(1)支部総会費	0	0	0	
(2)役員会費	5,000	850	-4,150	
(3)委員会費	3,000	0	-3,000	
(4)業務費	3,000	0	-3,000	会議開催に伴う連絡通信費等
2.事務費	180,000	91,129	-88,871	資料郵送代等
3.慶弔費	10,000	6,611	-3,389	
IV 予備費	20,000	0	-20,000	
支出合計	1,115,000	770,570	-344,430	
次年度繰越額	484,580	510,481	25,901	
合計	1,599,580	1,281,051	-318,529	

監査報告書

明治大学校友会市川地域支部会則第19条1項の定めに従い、2022年度の収支計算書につき、現金出納帳、証憑書類その他これらに関連する帳簿等を監査しました。

また、会務の執行については役員会に出席して状況を把握するとともに、活動報告については担当役員から説明を求め、監査を実施しました。

監査の結果、収支計算書は2022年度における収支の状況を適正に表示しており、会務は会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認めます。

2023年 〆月 〆日

明治大学校友会市川地域支部

監査委員

大越 信夫



監査委員

阿部 晃



2023年度 活動計画(案)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 第19回市川地域支部総会・懇親会の開催（山崎製パン企業年金基金会館）
 - ・ 2023年5月14日(日) 11:00～
2. 役員会の開催
 - ・ 定例会は3ヶ月に1回、年4回開催予定(必要時には別途開催)
3. 会員の親睦、交流の推進
 - ・ 市川地域支部会報「まつかぜ」の発行
 - ・ 会員相互の交流の場として、趣味・スポーツ等のサークル活動の充実と支部からの補助
 - ・ ゴルフ同好会 年4回のコンペ開催
 - ・ カラオケ同好会 年4回の例会開催
 - ・ ハイキング同好会 六大学野球観戦・ラグビー観戦・市内めぐり等を検討中
 - ・ ボウリング大会&暑気払い 8月に予定
 - ・ 新年会の開催 2024年2月4日(日)予定
 - ・ マンドリン演奏会の準備委員会立上 2024年度開催を目指して
4. 重点事業
 - ・ 会員増強活動：各会員があらゆる情報を駆使して、地域の校友を支部の仲間として迎え入れる努力をしていきましょう。
 - ・ 第59回全国校友愛知大会(11月18日・19日)への参加
5. 大学関係への協力
 - ・ 大学協力資金等の募金活動への協力
 - ・ 大学賛助となるための必要活動への協力
 - ・ 明大ホームカミングデー(10月)への参加協力
 - ・ 千葉県西部支部各地域支部および東部支部の行事への積極的な参加
6. 市川市、地元への協力
 - ・ 市民まつり参加予定(11月3日)
 - ・ 地域貢献ボランティア活動(防犯パトロール等)

2023年度 収支予算

(2023年4月1日～2024年3月31日)

【収入の部】

科 目	予 算	備 考
I 地域支部会費収入	910,000	
1.年会費	420,000	3千円*140人
2.総会会費	490,000	7千円*70人
II 活動収入	600,000	新年会会費、明大グッズ販売売上等
III 寄付金収入	70,000	他支部祝い金等
IV 受取利息	4	
V 雑収入	500	
収入合計	1,580,504	
繰越金	510,481	
合計	2,090,985	

【支出の部】

科 目	予 算	備 考
I 事業費	670,000	
1.地域支部交流費	70,000	他支部総会祝い金等
2.その他活動費	600,000	新年会(7千円*70人)、同好会補助等
II 広報費	144,000	
1.地域支部会報発行費	120,000	総会資料、まつかぜ発行費等
2.広報関係費	24,000	ホームページ維持費等
III 運営費	763,000	
1.会議費	573,000	
(1)支部総会費	550,000	7千円*70人 アトラクション
(2)役員会費	10,000	
(3)委員会費	10,000	
(4)業務費	3,000	会議開催に伴う連絡通信費等
2.事務費	180,000	資料郵送代等
3.慶弔費	10,000	
IV 予備費	20,000	
支出合計	1,597,000	
次年度繰越額	493,985	
合計	2,090,985	

支部役員

	役職	氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話番号
特別 役員	顧問	山田 憲典	S35	法			
	顧問	行木 勝雄	S35	法			
	相談役	伊神 玲子	S27	商			
	相談役	及川 慶治	S30	政経			
支 部 役 員	支部長	伊与久 美子	S42	文			
	支部長代行	高梨 政夫	S40	商			
	副支部長	伊与久 剛史	S42	文			
	副支部長	中原 忠良	S46	経営			
	副支部長	明村 澄雄	S47	政経			
	副支部長	鷹見 秀昭	S56	政経			
	幹事長	高橋 一郎	S52	工			
	副幹事長	阿部 千尋	S56	法			
	副幹事長	武士田 卓志	S62	法			
	副幹事長	木川 正博	S63	政経			
	幹事	芹川 恵一	S37	商			
	幹事	湯浅 起市郎	S49	工			
	幹事	笈川 智子	S52	経営			
	幹事	笈川 英明	S52	経営			
	幹事	時田 徹	S56	工			
	幹事	市原 裕彦	S58	商			
	幹事	加藤 洋一	S61	政経			
	幹事	榎井 信吾	S62	法			
	幹事	富川 雅晴	H4	商			
	幹事	山室 繁央	H7	政経			
	幹事	上田 栄一郎	H8	農			
	幹事	金子 明	H8	商			
	幹事	松丸 陽輔	H9	文			
	幹事	石川 隆英	H20	法			
	会計幹事	湯島 文彦	S60	経営			
	会計幹事	清水 裕子	S63	文			
監査委員	阿部 晃	S34	経営				
監査委員	大越 信夫	S45	政経				

明治大学校友会 市川地域支部会員名簿

・個人情報保護の為、地番と電話番号を記載していません。
 ・地番と電話番号を知りたい方は支部長又は幹事長までお問合せ下さい。

No.	氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話番号
1	伊神 玲子	S27	商			
2	佐藤 要太郎	S29	商			
3	及川 慶治	S30	政経			
4	川島 毅	S30	法			
5	地引 一則	S30	工			
6	広瀬 一栄	S30	商			
7	瀧澤 幹男	S31	経営			
8	萩原 守夫	S31	商			
9	小川 正明	S32	工			
10	千葉 昭司	S32	政経			
11	鶴岡 正雄	S32	商			
12	石橋 正光	S33	商			
13	砂山 保郎	S33	商			
14	田中 薫	S33	法			
15	千葉 良二	S33	商			
16	阿部 晃	S34	経営			
17	鈴木 宣男	S34	政経			
18	宇賀山 昇	S35	商			
19	鈴木 保俊	S35	商			
20	土居 昌義	S35	経営			
21	行木 勝雄	S35	法			
22	宮崎 宏	S35	商			
23	山田 憲典	S35	法			
24	田中 一彦	S36	商			
25	山崎 敬生	S36	商			
26	芹川 恵一	S37	商			
27	保坂 孝	S37	経営			
28	星野 隆	S37	政経			
29	小田 隆造	S38	商			
30	鳥飼 好男	S38	商			
31	石毛 裕耕	S39	文			
32	井内 幸雄	S39	政経			
33	川島 重雄	S39	政経			
34	神田 久	S39	商			

No.	氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話番号
35	石川 守也	S40	法			
36	鈴木 吉則	S40	法			
37	関 勝治	S40	政経			
38	高梨 政夫	S40	商			
39	大西 勇	S41	政経			
40	菰田 育宏	S41	政経			
41	齋藤 信義	S41	工			
42	須賀 明	S41	政経			
43	米山 功	S41	法			
44	飯塚 哲夫	S42	経営			
45	井上 喜久男	S42	経営			
46	伊与久 剛史	S42	文			
47	伊与久 美子	S42	文			
48	河野 忠晴	S42	農			
49	小林 操	S42	文			
50	佐藤 国雄	S42	工			
51	富田 繁太郎	S42	商			
52	橋詰 一彦	S42	政経			
53	堀 静雄	S42	経営			
54	茂呂 三男	S42	法			
55	内田 正彦	S43	文			
56	増田 文明	S43	商			
57	橋本 剛	S44	政経			
58	渡邊 勉	S44	法			
59	大越 信夫	S45	政経			
60	大原 登志	S45	商			
61	登坂 一朗	S45	政経			
62	吉田 育生	S45	法			
63	桑原 信	S46	政経			
64	中原 忠良	S46	経営			
65	本間 雄司	S46	工			
66	吉野 伸一	S46	商			
67	明村 澄雄	S47	政経			
68	内田 典子	S48	文			
69	大場 洋一	S48	農			
70	坂巻 幸夫	S48	法			
71	里村 清隆	S48	商			
72	戸田 正人	S48	工			

No.	氏 名	卒年	学部	郵便番号	住 所	電話番号
73	土橋 敏雄	S48	経営			
74	湯浅 起市郎	S49	工			
75	小島 昭彦	S50	商			
76	戸邊 寛	S50	法			
77	柳田 好明	S50	政経			
78	入江 誠一	S51	経営			
79	渡辺 博道	S51	大学院			
80	笈川 智子	S52	経営			
81	笈川 英明	S52	経営			
82	笠原 智	S52	農			
83	小林 裕司	S52	商			
84	高橋 一郎	S52	工			
85	二見 昭	S52	経営			
86	吉田 健	S53	経営			
87	伊藤 祐介	S55	法			
88	滝口 利子	S55	商			
89	野口 克子	S55	法			
90	阿部 千尋	S56	法			
91	池本 克己	S56	政経			
92	今野 義昭	S56	商			
93	鷹見 秀昭	S56	政経			
94	時田 徹	S56	工			
95	轟 正昭	S56	法			
96	中田 聡子	S56	政経			
97	吉野 芳明	S56	法			
98	長森 稔明	S57	法			
99	市原 裕彦	S58	商			
100	鈴木 則子	S58	文			
101	市川 眞純	S59	経営			
102	川村 日出樹	S59	政経			
103	菊池 武	S59	政経			
104	川島 康男	S60	商			
105	湯島 文彦	S60	政経			
106	江戸 正人	S61	法			
107	加藤 洋一	S61	政経			
108	河合 憲二	S61	商			
109	赤坂 幸彦	S62	文			
110	武士田 卓志	S62	法			

新

No.	氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話番号
111	梶井 信吾	S62	法			
112	新井 宏幸	S63	経営			
113	木川 正博	S63	政経			
114	清水 裕子	S63	文			
115	杉沢 秀一	H1	工			
116	大陽 照弘	H1	政経			
117	細田 伸一	H1	法			
118	神田 琴絵	H2	工			
119	金子 忠幸	H3	商			
120	富川 雅晴	H4	商			
121	山室 繁央	H7	政経			
122	吉岡 聡子	H7	政経			
123	上田 栄一郎	H8	農			
124	金子 明	H8	商			
125	松丸 陽輔	H9	文			
126	小山田 直人	H10	理工			
127	松永 鉄平	H10	商			
128	安田 智信	H10	政経			
129	今井 智茂	H11	商			
130	高橋 大輔	H11	法			
131	武田 隆志	H12	政経			
132	羽染 和仁	H12	法			
133	高橋 亮平	H13	理工			
134	通川 結実	H14	短法			
135	城和 宗一郎	H17	商			
136	小野 陽子	H18	商			
137	石川 隆英	H20	法			
138	田中 幸太郎	H22	大学院			
139	土屋 正順	H27	法			
140	土屋 彩希	H27	情報			
141	守屋 海沙	H28入学 現役	理工			
142	阿部 裕貴	R4	文			
143	宮本 珠妃	R4	法			

新

新

新

新

ご逝去：大石和男さん(S28)、石毛敬祐さん(S31)、山崎 善二郎(S31)、斎藤英夫さん(S33)

佐川清さん(S33)、中村精三さん(S37)、進藤周一さん(S47)

ご冥福をお祈りいたします。

心を熱き!! 謳え

明治大学校歌・應援歌集

—明治大学應援團—

明治大学校歌

児玉花外 作詩
山田耕 作曲

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗翳し

高き理想の道を行く

我等が健児の意気をば知るや

我等が健児の意気をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり

いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

明治大学校歌

「白雲なびく駿河台……」の名文句、名調子による我が明治大学の校歌は、日本三大校歌の一つにかぞえられ、全国津々浦々に知れ渡っている。又、校歌物語を引用すると……。

一九二十年の春、当時まだ学生であった武田 猛氏（元明治大学総長）と級友 牛尾哲造氏 とが中心となって、校歌を作成することになった。そして、作詞を詩人 児玉花外先生 に、作曲は当時楽壇のホープとして注目されていた、山田耕作先生 に依頼することとなり、この年の秋、隅田川の大学対抗ボートレースで初めて全学生の校歌として発表された。等、等、そのエピソードは波乱に満ち、維新以来先哲のあるいた幾多の伝統の重みが格調高かつたわってくる。神宮球場で勝利の瞬間に聞く校歌は、明大生である喜びを誇るかの如く力強く鳴り響くのである。



発行：明治大学校友会 千葉県西部支部 市川地域支部